

八乙女

編集 南山見公民館
発行

平成7年2月25日発行

No. 51

富山県東砺波郡井波町川原崎
〒(0763) 82-5176

八乙女の峰に初日の拝まるる



朝倉一緒

院瀨見 善 休 寺

新春所感

町教育委員 倉嶋清時

社会情勢が混沌とし経済が低迷していながらも私達は、豊かな生活の中にあります。しかし、社会の奥深い所での変容が様々な型で表面化しており、その中でも子供達の「いじめ」の問題が深刻化し、全国で年間約二万三千件以上があります。

殊に、愛知県で起きた大河内君に対する陰湿極まりない事件には胸が痛みます。世論調査では原因は、「家庭や社会環境にある」が七割あり、対策として「親子の対話」「教師の親身な相談」などがあげられ、各分野でも対策を打出し検討実施されています。

地域での子供集団の崩壊が見られる中、子供達との一層のコミュニケーションの大切さが考えられます。勇気を持って、お互いに論し、思いやりの心を育むなど、家庭と地域が一体となり「共存の社会」を目指したいものです。

亥年の新春を迎えて



今年の目標

三浦 竜 太

(昭和五十八年生)

優勝をめざして

小橋 梨 恵

(昭和五十八年生)



やっとまじにまった私のいのしし年がやってきました。四年のころからスポーツ少年団のバレーボールに入っています。特に今年は六年生なので、新しく入って来る四年生や五年生の手本になり、前の六年生より良い成績をおさめたいです。今年の私の夢は、スポーツ少のバレーボールで優勝する事です。この願いがかなうように、今年もがんばりたいと思います。



ぼくは、小学三年生の時から野球を始め、今年小学校最後の年なのでぼくたち、六年生が中心となってチームを引っばっていかねければいけません。ピッチャーとしてまず、コントロールを良くして、緩急をつけたピッチングを身につけたいです。そのため、きらいな牛乳を飲むように心がけ、まず体力をつけ、学童野球の県大会に出場して、ランニングホームランを打ちたいです。

まず目標を

須川 博 之

(昭和四十六年生)

明けましておめでとうございます。



昨年一年をふりかえると日々何をしていたのだろう、ただ一年を過ごしたような気がします。昨年のような事のないよう、今年は何か目標をもって、元気で楽しい一年にしたいと思っています。

感謝の心

細川 徹

(昭和三十四年生)



「吾れ十有五にして学を志す。三十にして立つ。……」と有りますが、未だに右往左往する毎日です。昨年、不備な所が幾多ありましたが、無事沖の青年会長を務めさせて頂く事が出来ました。若い頃は、何でも自分一人で行けると思っていました。が、さまざまな行事を進

自分を大事に

銅 俊 昭

(昭和二十二年生)



めて行く上で、やはり人間一人では何も出来ないのだと実感させられました。今後は、何事にも感謝の心を忘れない様に行きたいと思っています。目の年男となりました。我々は戦後のベビーブーム時代に生まれ、団塊の世代と言われ、実社会においては猛烈な社員とも言われ、それを猪突猛進でただひたすらに走り続けてきた感があります。人生の折り返し点を通じた今、心にゆとりを持ち、自からをいたわり自分を大事に、なお且つ夢を失わずに。



健康と心にゆとりを

直江喜美代
(昭和二十二年生)



とうとう、長い人生の折返点を廻ろうとしています。息子達も我家から巣立ちを始め新たな所に巣を構え始めました。光陰矢のごとし、「あっ」という間に四回目の亥年女、囲りの人々に助けられて現在まで亥の様につっぱして来ました。今年からは、家族の健康に気を配り、仲良く、そして心にゆとりを持った人生にしたい。と新年に当たりつくづく思います。諸先輩の皆様これからもよろしく。

亥年に誓う

狩野幸夫
(昭和十年生)

五回目の亥年として、還暦と言う厄年、先の方が見えるような年になって、過ぎ去った日々を思い出しています。



我々を取りまく一切の事が、地球が逆転したかと思われるくらいの変りようである。特に農業問題、減反だ、復田だと騒いでいるが、食糧だけは人類が生きていく根源で、これ無くしては人類の破滅である。体力は衰えても主食は自分で作りたいと思う。

健康を第一とし、若い気持ちを忘れず、一日一日を大切にし、楽しい家庭、充実した毎日を歩み続けたいものです。

毎日を感謝の気持ちで

前川久子
(大正十二年生)



六度目の干支を迎え健康に恵まれた事を心から喜びの毎日です。夫も戦争に

二回も参戦無事大任を果たし復員、二男一女に恵まれ今は孫も元気で話

題が日増に多い此の頃です。老人家族の健康管理に留意し『知る葉ゲートボール』学習に参加。多くの人とふれ合いの和を広げ実のりのある人生を心掛け、感謝の気持ちを忘れず、昨今の老人交通事故の多発、心から防止を祈る今日です。

日々に感謝

原田しの
(明治四十四年生)



あけましておめでとうございます。今年で亥年七回目の新春を迎えることが出来ました。この年になると自分で出来る範囲で畑仕事をして健康管理をしております。孫達にかまれて何やかんやとすごしております。今年も身体に気をつけて、交通事故にも気をつけて、息災にすごしたいと思



新年のつどい



賓の清都町長始め北田町議会議長等を迎え、八十余名の地区参会者と同賀歓談、終始盛会であった。
(事務局)

一月四日午後三時三十分恒例の南山見地区「新年のつどい」が、自治振興会、公民館で共催。公民館ホ

ご寄付

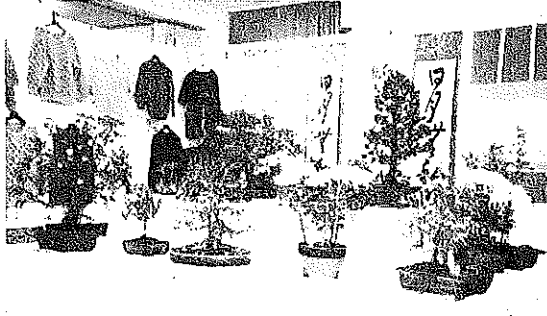
- 公民館備品費 二万円
- 平成六年度 婦人学級様
- 公民館備品費 三万円
- 平成六年度 婦人会様

二月の行事予定

二月二十六日 三世代交流の集い

毎年恒例の文化祭が第十七回を迎え、十一月二十日盛大に開催されました。日頃の成果を発揮され各種団体の活動発表が次から次へと行われた。作品展示、また、丹精こめて作られた農産物品評会で会場は熱気であふれんばかりでした。

婦人学級では、バザーの企画で前売券、当日券と沢山の売上を得て大繁盛、お茶席やタンポポ喫茶も終始にぎわいでました。
(冨田百合子記)



優秀賞

平成六年度 婦人防火クラブ 防火標語入賞

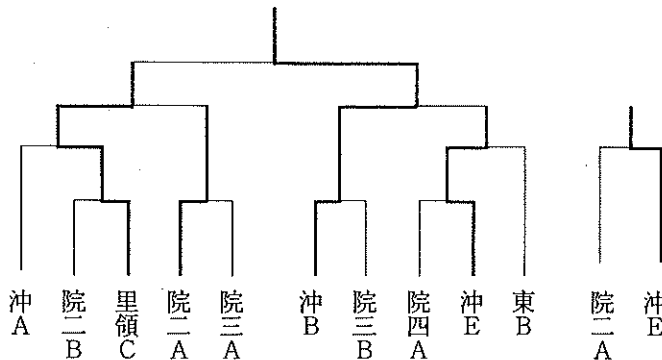
「火の始末自分の目と手で確実に」

南山見婦人防火クラブ 山崎 和子

三十八組の参加チームが、連夜大勢の方々の応援のもと、決勝トーナメントが十二月十一日に行われました。成績は次の通りです。



第十一回
ビーチボール大会
12/5~12/9



優勝 沖Bチーム
次勝 里領Cチーム
参勝 沖Eチーム

最後のピアノ発表会

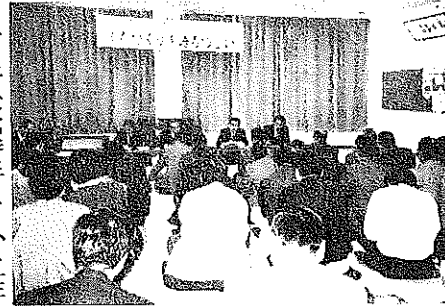
高橋真奈美

十一月二十日の文化祭のピアノの発表会にむけて、だい分前から練習をしていました。私は六年生なので、みんなの前で発表するのは最後です。五年生の時よりもっとまじめに練習をしました。そして文化祭の日がやってきました。どんどんとプログラムが進んで私の番がきました。曲をひき始めてから少したつと、まちがえ



たけれどもまあまああひくことが出来ました。中学校へ行ってからも続けていきたいと思っています。

「まちづくりを語るつどい」開催



十二月二日午後七時半より、二年ぶりに「まちづくりを語るつどい」が、開催されました。まず清都町長より、高齢者対策、若者の定着（住宅問題）、延長保育、学校整備等の町政報告があり、そのあと参加者から農業問題、南部スーパ―農道の事業計画、ゴミ投棄問題公民館の増築、不動産の周辺整備、青少年問題（夜間照明）、明源谷の山崩れ復旧等、当地区内の諸問題が予定の時間をオーバーするほど活発に討議されました。

(才川記)

クリスマス会



地区の子供達が一同に会してのクリスマス会が昨年末公民館で行われました。母親クラブの協力を得て、女の子たちはグループに分かれて手作りケーキに精を出し、男の子たちはツリーの飾りつけをと、一年から六年までの子供達が全員で準備をしました。地区の子供達と一緒に取り組むこのような機会を、これからも長く続けていってほしいと思いました。

(山崎貴美江記)

農政公民講座

これからの農業と地域宮
農組織の推進について

十二月十五日晩、公民館ホールに於いて、二十一世紀委員会ほか各団体共催の農政公民講座が開催された。講師の酒井富夫先生は、ウルゲアイラウンド後の日本農業の将来展望や、これからの農業経営のあり方、集落営農の取り組み等について、先進地の具体例をあげてご熱心に講演下さ



れ、講演後聴講者からの質問や意見にも答えていただき、実のりの多い講座となった。

(朝一記)

成人おめでとーございませう

一月十五日雪模様の中、晴着姿の成人者が、来賓より若人として、責任を自覚し、さらに成長されることを願いますと、激励のお言葉を頂き、当地区より、山本博君が謝辞をのべられました。又、山口恵利子さんが「私の選んだ道」と題して活発に発表され、式終了後、ロビーのあちこちに歓談の輪ができ、我子の晴れ姿をカメラに収める父母らも目立ち、嬉しそうな表情が伝わってきました。(事務局)



私の選んだ道

山口恵利子

ここ井波町で生まれてから早くも二十年経ち、今こうして成人式を迎えたことを大変うれしく思います。小学校、中学校と義務教育を受け、八乙女山がそびえ立つ自然いっぱい

成人者氏名

- | | | |
|-------|-------|------|
| 院瀬見一 | 山崎晋一 | 松田幸恵 |
| 院瀬見三 | 篠原直美 | |
| 院瀬見四 | 青山知広 | 山本博 |
| 東城寺 | 佐藤裕美 | |
| 清玄寺 | 池田剛之 | |
| 連代寺 | 井上茂 | 箭原寛 |
| 箭原圭子 | | |
| 武田毅 | 谷田香 | |
| 前田春美 | | |
| 岡本小百合 | | |
| 戸板 | 岩田実 | 朝倉裕子 |
| 里領 | 直江進 | |
| 川原崎 | 山口恵利子 | 徳成恵美 |
| 沖 | 小坂重治 | 加藤憲子 |
| 南山見団地 | 横江三枝子 | |

の中で勉学に励んできました。現在私は、富山の短期大学に通っています。短大入學と同時にバイトも始めました。中学、高校では部活動の毎日、本格的にバイトをしたのはこ

れが始めてでした。やはり最初はわからないことばかりで、たくさん恥をかき自分がどれほど世間知らずかということを実感させられました。しかし続けていくうちに、お年寄りから子供まで幅広い人達と出会い、輪を広げることができ、今では人と接することに興味を持ち、社会勉強として自分を磨くことに努力しています。

短大は、富山県内外様々な所から大勢の人達が集まっているところで、そんな中で、ちょっと残念に思っただけは、友人に井波町と言ってもどこに位置するのかわかってもらえなかったことです。いくら説明をしても「そこまで行ったことがない」という人がほとんどでなかなか理解してもらえなかったのです。しかし、井波と聞いて返ってくるのは『木彫りの町』という言葉でした。井波町の場所がわからない人でも井波は彫刻の町だということだけは、ほとんどの人が認識しているのです。やはり井波町住民としては、美しい環境に囲まれた伝統あるこの町を日本人に知ってもらいたいと思います。

現在、日本経済はまだまだ不況の中にありその影響をうけた私達は、就職難で大変悩まされました。春から夏にかけてのガイダンスには欠かさず参加し、たくさんの方の企業を訪ね

てきました。苦労した甲斐があり、望み通り税務経営の会社から内定を頂き、春から社会人として勤めることになりました。現在は、学校へ通うかたわら、その会社の講習会、レポートに追われる毎日です。また、来月からは年末調整の確定申告などの補助作業として研修を行います。高校、短大と簿記、情報処理、秘書検定など取得できる資格にはすべて挑戦してきました。幸いこの資格を生かすことのできる職業です。やはり今まで学んできた知識をフルに生かせる仕事こそやりがいがあるのではないでしょうか。成人者となったからといって「教えてもらい」「させてもらって」始めて「自分が判り」そして一生懸命働かせてもらって「自分が生きて」くるのではないのでしょうか。私は持ち前の明るさと根性でがんばり、尊敬される女性になりたいと思います。

編集後記

 亥年、明けましておめでとーございませう。亥は十二支の締めくくり。
 ここ激動の数年。どうか今年は無難にと希う。戦後五十年、二十一世紀への大事な出発点に公民館の活動も歩んで来た道を見つめて、新しい道を見つけて、みんなでガンバロマイケ。(山本幸記)